



岐阜県高山市

令和6年7月26日
高山市建設部建設課
中部縦貫自動車道推進室

中部縦貫自動車道「高山清見道路」 中間インターチェンジ周辺の土地活用に関する サウンディング型市場調査を実施します

至 丹生川IC (仮称)

1. 調査目的

現在、国土交通省中部地方整備局高山国道事務所において、中部縦貫自動車道「高山清見道路」の事業が進められており、高山IC～丹生川IC(仮称)間、約9.5kmの工事が行われています。高山清見道路の整備により、高山市東部の奥飛騨温泉郷平湯方面や、更には長野県松本市へのアクセス向上が期待されています。
高山市は、上記区間の中間に位置する場所に、地域要請型追加インターチェンジ(以下、中間IC)を計画しており、インターチェンジ周辺において、観光人口、交流人口の拡大と、地域の活性化を図る目的で土地活用の検討を行っています。本調査では、持続可能な観光都市として、更なる地域振興・活性化、定住人口・交流人口の拡大など地域力の増強を図るため、中間ICの設置に向け、当該地区の土地を活用した、商業施設、物流拠点の整備など、地域の可能性や魅力を活かした地域振興について、民間事業者の皆様から広くご意見・提案を求め、より実現性の高い地域活性化策を検討していくことを目的としています。

<段階>



2. 提案いただきたい内容

- ・中間ICが近接し、高台に広大な平地、山岳眺望が良いという立地条件を活かした、整備の提案。
 - ・中間IC周辺の魅力向上や集客などにつながる提案。
 - ・提案された整備を行うための事業手法などの提案。
- ※上記事項については、全てを満たす必要はありません。
※ご提案いただいた内容で、農業振興地域などの規制緩和の範囲を検討します。

3. サウンディング型市場調査の実施概要

(1)参加申し込み

- ①申込期間 令和6年7月26日(金)～8月30日(金)17時
 - ②申込先 高山市建設部建設課 中部縦貫自動車道推進室
- ※お申込みの際は、事業者名、担当者名、連絡先(電話・メール)をお知らせください。

(2)サウンディングの実施

- ①実施期間 令和6年9月27日(金)までの間で随時実施 ※実施日時は個別に調整します。
- ②場 所 高山市役所(本庁)会議室のほか、貴社、現地等、ご相談の上、実施します。
- ③そ の 他 資料の準備は提案者が行う(費用は提案者負担)ものとし、実施方法は個別に調整します。サウンディングの実施結果について、概要の公表をする場合があります。なお、参加事業者名は、公表しません。また、参加事業者のノウハウに配慮し、公表にあたっては、事前に参加事業者への内容の確認を行います。

中間IC予定地

土地活用想定エリア
(概ね1～5ha)

土地活用想定エリア
(概ね1～5ha)

中部縦貫自動車道(高山清見道路)

至 高山IC

<申込先・問い合わせ先>
高山市役所建設部建設課 中部縦貫自動車道推進室
TEL 0577-35-3519
mail kensetsu@city.takayama.lg.jp

対象土地平面写真

【中間ICを活用した周辺地域の活性化】

○少子高齢化や人口減少が避けられない今日にあって、また高校や大学を卒業しても地元で働ける場が少ない状況のなか、交流人口や関係人口を増やし、持続可能な産業、観光、環境等を育むことで、今の子供や孫たちの世代が夢や希望の持てる持続可能な高山市の実現に向けた取り組みが必要と考えています。

○その一つとして、広域的な道路ネットワークを構成し、様々な社会経済活動の基盤としての役割が期待される中部縦貫自動車道のICを活用した取り組みは、最大のチャンスと捉えています。

○道路と地域を結ぶIC周辺は、乗り降りのしやすさ(地理的、料金無料)から、周辺地域の活性化をはじめ、将来、物流など各種産業の拠点となり得ることから、持続可能な高山市の実現に寄与するエリアとなります。

【観光客の状況】

○中部縦貫自動車などの道路整備や外国人誘致により、高山市には年間約410万人(令和5年度)の観光入込客が来訪しています。

○観光客の増加により、高山市の観光消費額・波及効果額もコロナ渦(令和2年度)の約2倍(令和4年度)に増加しています。



対象土地位置

